

**7. 資源管理型漁業推進総合対
策事業（4科共通）
（概 要）**

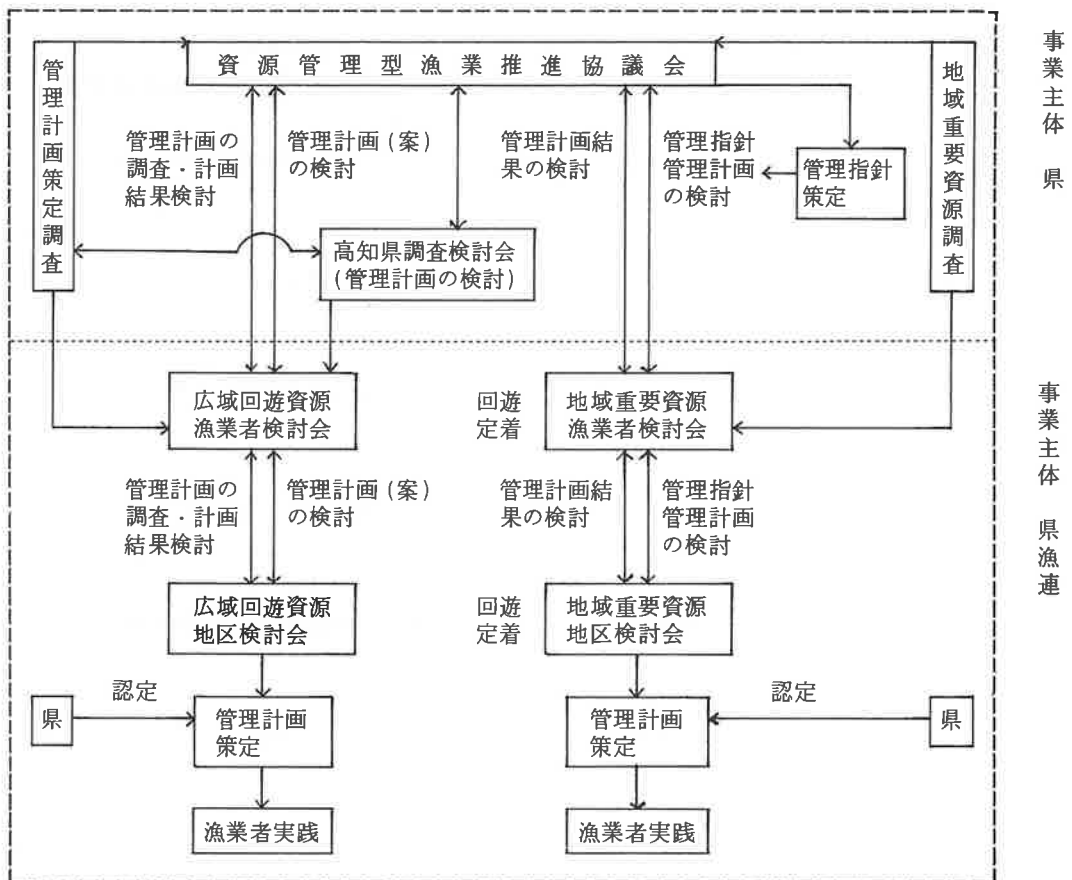
資源管理型漁業推進総合対策事業 (概 要)

漁 業 科
海 洋 資 源 科
漁 場 環 境 科
増 殖 科

本事業は、昭和63年度から平成2年度まで3か年間実施された広域資源培養管理推進事業が、メニューを拡充再編整備し平成3年度から実施されているものである。

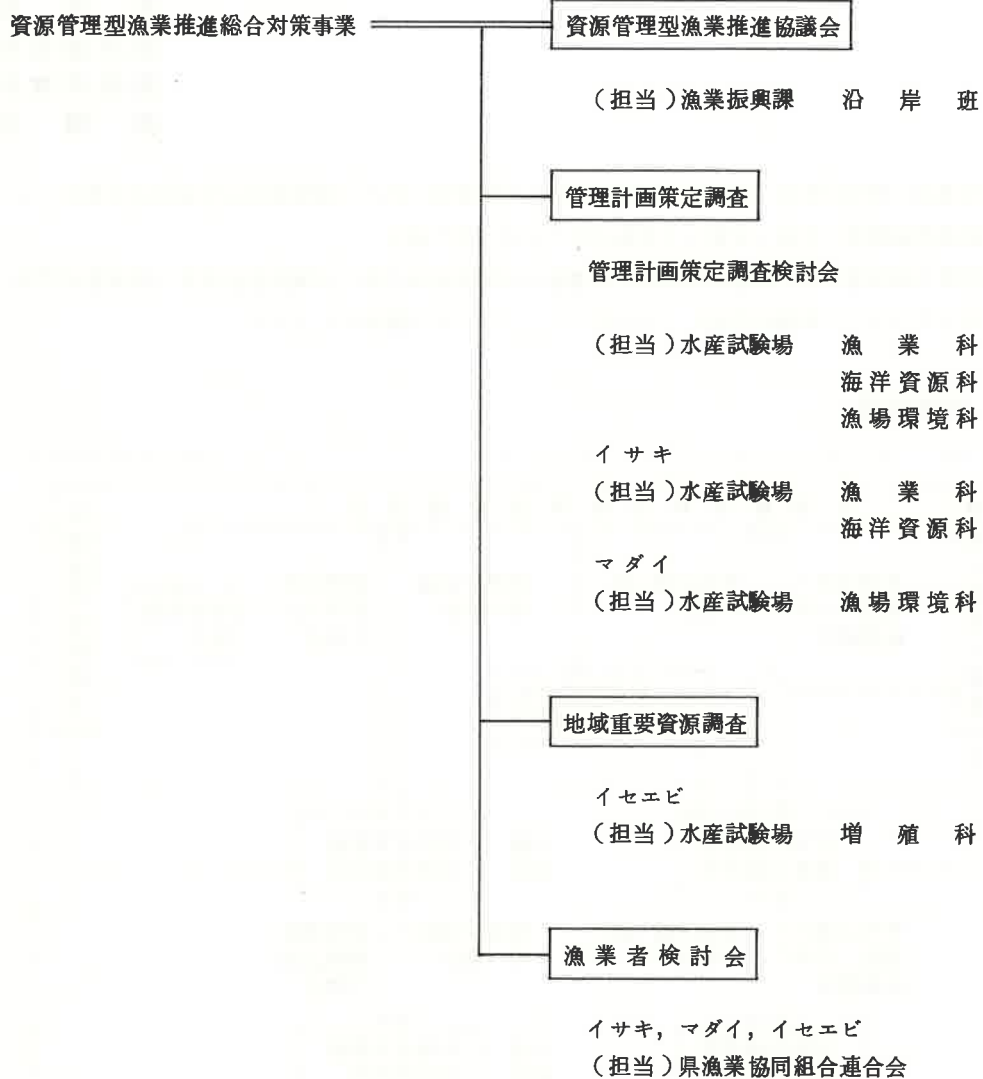
本年度の事業報告は、資源管理型漁業推進総合対策事業報告書（広域回遊資源及び地域重要資源、平成5年3月）として別冊に作成しているので、ここではその概要にとどめる。

1. 実施計画



資源管理型漁業推進総合対策事業実施計画フロー図

2. 実施体制



3. 管理計画策定調査

平成2年度に作成した広域資源培養管理推進指針に基づき関係漁業者が管理計画を策定するために必要な調査を行う。

(1) 調査の概要

調査項目	調査の目的	実施機関	調査手法、内容等	年次計画	
				3年度	4年度
標本船調査	漁業モデル・経営モデルの強化（イサキ）	水産試験場	イサキ一本釣漁船に標本船日誌の記載を依頼する。	○	○
市場調査	資源モデル・漁業モデル・経営モデルの強化（イサキ） 放流効果評価モデルの強化（マダイ）	水産試験場 漁業指導所 調査員	市場において漁獲物を測定するとともに、漁獲量・標識魚等についても調査する。	○	○
標本調査	資源モデルの強化（イサキ）	水産試験場 漁業指導所	標本魚を購入して精密調査を実施する。	○	○
遊漁船調査	放流効果評価モデルの強化（マダイ）	水産試験場	遊漁船によるマダイの漁獲状況を把握する。	○	○

(2) 管理計画策定調査検討会の開催

平成4年6月22日、および平成5年3月23日に高知市で開催した。

4. 地域重要資源調査

イセエビ資源を合理的に利用するために、漁業者自らが資源の管理計画を策定するために必要な各種調査を行う。

(1) 調査の概要

調査項目	目 的	調 査 手 法 ・ 内 容 等	年 次 計 画	
			3 年 度	4 年 度
生物調査 調査船調査	資源生態の把握	試験操業（漁船用船）による標本採取，漁獲物組成，精密測定，年齢査定，標識放流等。	○	○
漁業実態調査 漁獲実態	漁獲努力量，漁場分布の把握	漁協及び漁業者からの聴取り調査。	○	○
経営実態	対象漁業の経営内容の把握	標本船依頼漁業者の経営収支の把握。	○	○
標本船	操業実態の把握	日誌の記帳を依頼して漁場の実態，操業時間，漁具漁法等を調査。	○	○
市場調査	魚価及び流通実態の把握	産地市場における魚価形成のメカニズム及びその実態や取扱量を把握する。また，仲買業者からは流通経路等の実態を調査する。	○	○
その他調査	漁場造成，資源保護等の措置について	漁協及び漁業者からの聴取り（これまでに実施された漁場造成，資源保護に関する管理，規制措置に関する調査）。	○	

5. 県資源管理型漁業推進協議会開催

平成4年6月22日および平成5年3月23日の2回，高知市で開催した。